

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	個別療育センター 結いの虹 長居教室		
○保護者評価実施期間	2026/1/27		2026/2/6
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2026/2/7		2026/2/14
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026/2/14		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活空間が、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていること。	TEACCHプログラムの理論をベースに、一人ひとりにあった構造化をこころがけて、実施しています。	画一的な構造化ではなく、さらに理解を進めていくために、理論の勉強会や、ケーススタディを行っています。
2	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援を行っていること。	ABA、PECS、認知行動療法など、エビデンスのある介入アプローチを通じて、専門性のある支援を行っています。	左記介入アプローチの勉強会を行い、実践にも活かしながら職員の支援の質の向上につなげています。
3	こどもが通所を楽しみにしてくれている。	一人ひとりのこどもの興味・関心・認識に応じたプログラムを工夫し、繋がりを持てるようにしている。	ただ遊んでいるだけではなく、それがどのように世界を広げることにつながるのかについての、ロジックを勉強会を通じて行っています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	個別療育の特性上、地域で他の子どもと活動する機会を作り出すことが困難。	小集団セッションを行っていますが、限定的であるため、その充実を図っていきます。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	◇父母の会の活動の支援や、保護者の交流イベント等は、職員数の配置や実施できる日時が限られてしまい、機会を均等に提供できていない。 ◇きょうだい同士の交流も、親の希望や職員のスキルにより機会を均等に提供できていない。	定期的に左記の支援を行なえるような体制づくりをします。
3	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	◇個別療育の特性上、全児童に対して行うことが困難。 ◇職員間で行っているが、それを周知できていない。	◇定期的に左記の活動を行なえるような体制づくりをします。 ◇掲示やSNSを通じて、これらの活動を周知できるようにしていきます。